

サンド目地

舗装用レンガ目地材
(掃込み目地材)

荷 姿



25kgポリ袋

標準使用量

練り上がり量：約16ℓ

インターロッキングブロック
(300×300×61mm)

目地幅		
2mm	3mm	4mm
約20㎡ /袋	約13㎡ /袋	約10㎡ /袋

レンガ
(210×110×60mm)

目地幅		
2mm	3mm	4mm
約10㎡ /袋	約7㎡ /袋	約5㎡ /袋

1 m³=62.5袋

ユニオンサンド目地は、公園内外の整備や、舗道のインターロッキング・舗道レンガ・舗石等の施工に供する専用の化粧目地材です。厳選された原料をベースに特殊硬化材を配合していますので、目地詰め作業が効率良くでき自硬性（目地詰め→水の散布→吸水→硬化）タイプですので美観と安全性に役立ち、目地砂の流出や雑草等の防止ができ目地の化粧保護として役立ちます。

特 長

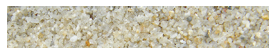
- 目地詰め作業が効率よくでき合理化につながります。
- 施工後の雨水や強風による目地材の流出がありません。
- 透水性があり、路面に水が溜まりにくくなります。
- 目地部分の砂の流出が防止でき窪みが出来ずハイヒール・車イス等での事故や危険性の防止に効果が有ります。
- 特殊樹脂配合により硬化後、雑草が生えにくくなります。

適用資材

インターロッキング、舗道用レンガ、舗石、石材、庭石 等

色 調

※本色見本は印刷イメージの為、実際の色調とは異なって見える場合があります。



USM A



USM B

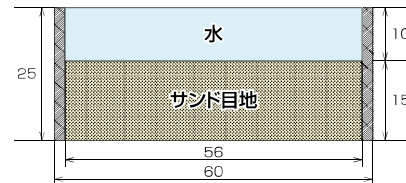
試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

1. 透水試験

高さ25mm直径56mmの円形枠に深さ15mmまでサンド目地を詰めて28日間標準養生を行った。養生終了後、サンド目地表面に高さ10mm(25ml)の水を注ぎ、サンド目地表面から水が引くまでの時間の測定を行った。

試験番号	No.1	No.2	No.3	平均
時間(秒)	150	130	100	126.3



2. 凝結試験 (JIS R 5201)

凝結(時一分)	始発	2-01
	終結	20-00



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

施工手順

サンド目地は以下のような部位には施工出来ません。

- ・裸足で歩行することが前提となる場所。
- ・集中して雨垂れなどの繰り返し圧を受ける場所。
- ・車両や重物が常に往来する場所。(サンド目地は硬化しますが、ひずみの繰り返しにより脆くなっていきます。)
- ・乾燥できない場所。(サンド目地は乾燥することで硬化しますが、乾燥できない場所では硬化できません。)

- ① いったん袋に入ったままの状態ですらに置いて、揉んで平たくし、裏側にしてまた揉んで平らにしてください。
- ② 袋から出す時、撒き散らさないようにか所にし、平らにして粉末硬化剤(白い粉)が偏らないよう熊手で切るなどして分散させてください。
※ 袋内の分離を正すため、必ず一袋分すべてを袋から出してください。
- ③ 角型スコップなどですくって、施工部に配り置きします。この時、材料を放り投げないようにそっと流し置きするようにしてください。珪砂と粉末硬化剤は比重差が大きいので落下させると分離し、粉末硬化剤が飛散します。
- ④ できるだけ硬化剤が均一に分散するように、ほうき等でゆっくりと目地に掃きこみます。
- ⑤ 転圧を同一箇所にて2~3回かけ、再度サンド目地を掃きこみます。
※ 再度掃きこんだ後に転圧はかけないでください。硬化剤と細かい珪砂が沈み、表面に粗い珪砂が集まると隙間が大きくなって固まらなくなる恐れがあります。
- ⑥ 舗装材表面に白い粉(粉末硬化剤)が残留しないように目地によく掃きこみ、舗装材表面より盛り上がりがないように均して、余った材料は塵取り等で回収してください。掃除機などの集塵機で回収する場合は、低圧かつ、できるだけ細かい口径で目地部の硬化剤を吸い上げないように注意してください。
- ⑦ 施工面にジョウロなどのできるだけ水圧がかからない用具で散水します。
散水量は、㎡あたり2ℓ程度を2回行ってください。(合計約4ℓ/㎡程度)
目地深さ40mm~60mmの場合の目安です。舗装材の吸水量によって変わります。
※ 散水量が少ないと硬化剤が分散できず、散水量が多すぎると硬化剤が流れて偏ってしまい硬化不良の原因となる場合があります。
※ 水道から直接ホースを伸ばしてのシャワーノズルでの散水は、水圧で表面が荒れすぎたり、水量が多くなりすぎる恐れがありますので推奨できません。
※ 熱水は散水しないでください。散水する水温は15℃~25℃程度を推奨します。低温になるほど硬化剤が溶解しにくくなるため、冬期は投げこみヒーターなどで少し水温を上げることをお勧めします。
※ 舗装材表面に白い液体が残留してしまう場合は、水吸い可能な掃除機で吸い取ってください。吸い取った後、掃除機のフィルターは乾燥する前にすぐに水洗いしてください。
- ⑧ 完全に乾燥するまで、雨打たれや多量の水が入り込まないようにご注意ください。乾燥期間の目安は夏期1日以上、冬期2日以上ですが、乾燥条件の悪い場所では長引くこともあります。表面が固くなっているかを確認してください。(真夏の直射日光に当たる箇所では完全に乾燥していても、高温によって若干軟らかくなっている場合があります。)
※ 乾燥を促進させる場合、温風による乾燥は可能ですが、バーナー等の火気を直接当てては厳禁です。

注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

- ・強風時には施工しないでください。粉末硬化剤が飛散し、硬化不良や周辺に付着して除去が困難になります。
- ・必ず施工面の舗装材を乾燥させた状態で施工してください。舗装材が濡っていると表面に固着します。
- ・粉末硬化剤が袋内で分離しますので、【サンド目地の施工要領】に従って施工してください。
- ・サンド目地の掃きこみ後に、舗装材表面に粉末硬化剤(白い粉)が残留しないようにしっかり目地に掃き込んでください。残留したままでは舗装材表面に白い固形物が固着します。状態によっては除去不能になりますので十分にご注意ください。
- ・使用できる舗装材は平面な仕上がりの物に限ります。凹凸があると粉末硬化剤が残留して白くなるなど、仕上がりに不具合が生じます。
- ・ツヤのある仕上がりの舗装材には使用しないでください。
- ・混合されている粉末硬化剤は飛散しやすく、湿ると粘性を持ち、乾燥すると固着します。塗装物などに付着すると除去できませんので、周辺の養生には十分に注意してください。特に周辺の自動車、洗濯物などは要注意です。
- ・乾燥硬化するまでに気温が3℃以下になる場合は施工しないでください。この温度以下では乾燥しても硬化剤が正常に固まらない恐れがあります。また、乾燥前に一度凍結してしまうと、溶けた後でも硬化剤が正常に硬化できなくなります。
- ・施工後、乾燥する前に雨打たれや流水などで水分が増加すると、硬化剤が薄まり、流れてしまうため硬化不良が生じます。施工後の天候など、水濡れに十分ご注意ください。
- ・サンド目地は下地側からの発草を抑えることはできません。サンド目地は表面が固化することで飛来した種子の根付きを抑制できますが、舗装材を敷いてからサンド目地の施工までに期間が空きすぎると、目地底に種子が飛来して、後に発草の原因となることがあります。
- ・サンド目地は火気に接触すると硬化剤が炭化して結合力が失われます。
- ・目地幅は4mm以内を推奨します。幅が広くなるほど硬化ムラの生じる恐れがあります。
- ・目地深さは最低30mm以上を推奨します。浅すぎると散水時に水を与えずに硬化不良の生じる恐れがあります。
- ・透水性の高い舗装材では、水に溶けた硬化剤が舗装材に移行し、硬化不良の生じる恐れがあります。
- ・散水後、乾燥する前にサンド目地を踏んでしまうと、靴の裏に粘着して砂が剥がれる恐れがあります。
- ・テクスチャーの粗い舗装材では硬化剤が掃きとりにくくなり、白くムラの残る恐れがあります。



サンド目地は安全に正しくお使いください。



ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求ください

20221130.22

プレミックスモルタルの総合開発メーカー

二瀬窯業株式会社

<http://www.futaseyogyo.co.jp/>

本社・工場 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

関東工場 千葉県木更津市新港15-8
〒292-0836 tel(0438)30-7372 fax(0438)30-7472

福岡営業所 福岡県飯塚市横田669
〒820-0044 tel(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

名古屋営業所 愛知県清須市西枇杷島町并天5 ヤマモリビル 1F
〒452-0006 tel(052)509-2485 fax(052)509-2486

東京営業所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル 2F
〒105-0014 tel(03)6453-6685 fax(03)6453-6686

大阪営業所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル 2F
〒552-0002 tel(06)6583-3310 fax(06)6583-3325